

平成24年度技術士第一次試験問題〔共通科目〕

【A】数学

9時～11時

III 次の20問題を解答せよ。(解答欄に1つだけマークすること。)

III-1 極限値  $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x - \sin x}{x^3}$  は、次のどれか。

- ①  $-\frac{1}{2}$     ②  $-\frac{1}{6}$     ③ 0    ④  $\frac{1}{6}$     ⑤  $\frac{1}{2}$

III-2 極限値  $\lim_{n \rightarrow \infty} \log \frac{e^{n+1}}{e^n + 2^n}$  は、次のどれか。ただし、対数は自然対数とし、

$e$  は自然対数の底とする。

- ① 0    ②  $\frac{1}{2}$     ③ 1    ④ 2    ⑤  $e$

III-3  $\tan^{-1}(2 + \sqrt{7}) + \tan^{-1}(2 - \sqrt{7})$  の値は、次のどれか。

- ①  $\frac{\pi}{12}$     ②  $\frac{\pi}{8}$     ③  $\frac{\pi}{6}$     ④  $\frac{\pi}{4}$     ⑤  $\frac{\pi}{3}$

III-4 関数  $y = \sin x - \cos x$  の第10次導関数は、次のどれか。

- ①  $\sin x + \cos x$     ②  $-\sin x + \cos x$     ③  $-\sin x - \cos x$   
④  $\sin x - \cos x$     ⑤  $2 \cos x$

III-5 関数  $y = \log(1 + x)$  をマクローリン展開したとき、その展開式の  $x^4$  の係数は

次のどれか。ただし、対数は自然対数とする。

- ①  $-\frac{1}{4}$     ②  $-\frac{1}{4!}$     ③ 1    ④  $\frac{1}{4!}$     ⑤  $\frac{1}{4}$

III-6 微分方程式  $y' - 3x^2y = 0$  を初期条件「 $x = 0$  のとき  $y = 1$ 」のもとで解くと、

その解は次のどれか。ただし、 $e$  は自然対数の底とする。

- ①  $y = e^{x^2}$     ②  $y = e^{2x^2}$     ③  $y = e^{3x^2}$   
④  $y = e^{x^3}$     ⑤  $y = e^{2x^3}$

III-7 関数  $f(x) = x^4 - 6x^2 + 8x + 4$  について、正しくないものは次のどれか。

- ①  $f(x)$  は極大値をもたない。  
②  $f(x)$  は  $x = 1$  のとき極小値 7 をとる。  
③  $f(x)$  の最小値は  $-20$  である。  
④  $f(x)$  のグラフは異なる 2 つの変曲点をもつ。  
⑤ 方程式  $f(x) = 0$  は 2 つの異なる実数解をもつ。

III-8 広義積分  $\int_0^\infty \frac{1}{1+x^2} dx$  の値は、次のどれか。

- ①  $\frac{1}{4}$     ②  $\frac{1}{2}$     ③ 1    ④  $\frac{\pi}{2}$     ⑤  $\pi$

III-9 2変数関数  $z = \cos x \sin y$  に対し、 $\frac{\partial z}{\partial x} + \frac{\partial z}{\partial y}$  は次のどれか。

- ①  $\cos(x+y)$     ②  $\cos(x-y)$     ③  $\sin(x+y)$   
④  $\sin(x-y)$     ⑤ 0

III-10 重積分  $\iint_D (x+2y) dxdy$  の値は、次のどれか。

- ただし、 $D : 1 \leqq x \leqq 3, 2 \leqq y \leqq 3$  とする。
- ① 10    ② 11    ③ 12    ④ 13    ⑤ 14

III-11 複素数  $\left\{ \frac{(1+2i)(3-i)}{(1-2i)(1+i)} \right\}^2$  の絶対値は、次のどれか。ただし、 $i = \sqrt{-1}$  とする。

- ① 1    ② 2    ③ 3    ④ 4    ⑤ 5

III-12 2つのベクトル  $\mathbf{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}$ ,  $\mathbf{b} = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}$  について、ベクトル

$s\mathbf{a} + \mathbf{b}$  と  $\mathbf{a} + t\mathbf{b}$  が直交するとき、スカラー  $s$  と  $t$  の関係式は次のどれか。

- ①  $2s - 3t = 0$     ②  $3s - t = 0$     ③  $4s + t = 0$   
④  $5s + 3t = 0$     ⑤  $6s + 5t = 0$

III-13 行列  $A = \begin{pmatrix} a & -1 \\ 1 & 2 \end{pmatrix}$  と  $B = \begin{pmatrix} b & 1 \\ -1 & -1 \end{pmatrix}$  が等式  $AB \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}$

を満たすとき、 $a$  と  $b$  の値は次のどれか。

- ①  $a = -\frac{1}{5}, b = 4$     ②  $a = -\frac{1}{3}, b = 4$     ③  $a = -\frac{1}{3}, b = 3$   
④  $a = -1, b = 2$     ⑤  $a = -2, b = 0$

III-14 ベクトル  $\begin{pmatrix} t-2 \\ 2t \\ 1 \end{pmatrix}$  の大きさを最小にする  $t$  の値は、次のどれか。

- ①  $-\frac{2}{5}$     ②  $-\frac{1}{5}$     ③ 0    ④  $\frac{1}{5}$     ⑤  $\frac{2}{5}$

III-15 3次元ユークリッド空間のベクトルについて、次の命題のうち正しくないものはどれか。

- ① 1つのベクトルが1次独立であるための必要十分条件は、それが零ベクトルでないことである。
- ② 零ベクトルでない2つのベクトルは、なす角が  $0^\circ$  より大きく  $180^\circ$  より小さいならば1次独立である。
- ③ 零ベクトルでない3つのベクトルは、どの2つのベクトルのなす角も  $0^\circ$  より大きく  $180^\circ$  より小さいならば1次独立である。
- ④ 互いに直交している零ベクトルでない3つのベクトルは1次独立である。
- ⑤ 4つのベクトルは常に1次従属である。

III-16  $x, y, z$  に関する連立 1 次方程式  $\begin{cases} x + 3y - z = 1 \\ 3x + 4y + 7z = 1 \\ x - 2y + 9z = a \end{cases}$  が解をもつとき,

$a$  の値は次のどれか。

- ① -2    ② -1    ③ 0    ④ 1    ⑤ 2

III-17 行列式により与えられる方程式  $\begin{vmatrix} 3 & 0 & 0 & x \\ x & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & x & 4 & 0 \end{vmatrix} = 0$  の自然数の解は、次のどれか。

- ① 1    ② 2    ③ 3    ④ 4    ⑤ 5

III-18 行列  $\begin{pmatrix} 2 & 1 & 2 \\ 1 & 3 & 1 \\ -1 & -2 & 0 \end{pmatrix}$  に 1 回の行基本変形を行っただけでは得られない行列は、

次のどれか。

$$\textcircled{1} \quad \begin{pmatrix} 2 & 1 & 2 \\ 0 & 1 & 1 \\ -1 & -2 & 0 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{2} \quad \begin{pmatrix} 2 & 1 & 2 \\ 1 & -1 & 2 \\ -1 & -2 & 0 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{3} \quad \begin{pmatrix} 2 & 1 & 2 \\ 1 & 3 & 1 \\ 1 & 2 & 0 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{4} \quad \begin{pmatrix} 1 & 3 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \\ -1 & -2 & 0 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{5} \quad \begin{pmatrix} 0 & -3 & 2 \\ 1 & 3 & 1 \\ -1 & -2 & 0 \end{pmatrix}$$

III-19 行列  $\begin{pmatrix} -1 & 2 & -1 \\ 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}$  の逆行列は、次のどれか。

$$\textcircled{1} \quad \begin{pmatrix} -1 & 2 & 5 \\ 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{2} \quad \begin{pmatrix} 1 & -1 & 3 \\ 0 & -1 & -1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{3} \quad \begin{pmatrix} -1 & 1 & -3 \\ 0 & 1 & -1 \\ 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{4} \quad \begin{pmatrix} 1 & -2 & 5 \\ 0 & -1 & -2 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\textcircled{5} \quad \begin{pmatrix} -1 & 2 & -7 \\ 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}$$

III-20 行列  $\begin{pmatrix} 3 & 0 & 4 \\ 4 & -1 & 4 \\ 0 & 0 & -1 \end{pmatrix}$  の正の固有値は、次のどれか。

- ① 1    ② 2    ③ 3    ④ 4    ⑤ 5